

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 福本 貴久

## 一般質問の通告について

令和3年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 靱山町長の抱負について	<p>【趣旨説明】</p> <p>靱山芳輝町長が5期目の当選を果たされ、約5ヶ月が経とうとしている。靱山町長は6月1日に発行された広報たけとよの「すべての町民の幸せを願い・町長の抱負」5期目のスタートにあたり、最後に「これまで4期16年間にわたり、積み重ねてきた経験、そしてこれまで紡いできた人脈も最大限に生かし、また、今一度心のギアチェンジをして、職務に専念する所存であります。」と述べております。5期目の取り組みの最後では「今回のマニフェストは、早い時期に取り組む施策、長年の歳月を要し、関係者のご協力が不可欠な施策など、様々であります。しかし、この任期中での実現を目指し、具現化させるための道筋を作り、その構想を練り上げたいと考えております。」と述べられております。私は常日頃4年の任期は、あっという間に過ぎてしまうと感じている。先の6月議会の答弁では、半田消防署武豊支署の移転は、令和5年4月に供用開始。全小中学校の体育館への空調施設設置は、令和5年度に実現すると、早期着手に向けた積極的な答弁があった。6月の広報で記載された町長の抱負や7月発行の議会だよりを読み、これから更に武豊町が発展をして行くイメージを持たれ、期待をしている町民は多いと感じる。私もその中のひとりである。それゆえ靱山町長には、今の5期目に本町にとって重要な建設事業やビジョンについて、実施可能な計画を必ず作成して頂きたく、以下質問する。</p> <p>【質問事項】</p> <p>①公共施設カルテを見ると、東大高保育園は、1971年度(昭和46年度)に建設されており、耐震工事済みではあるが、老朽化率100%の施設である。また学校給食センターは1975年度(昭和50年度)に建設されており、こちらも耐震工事済みではあるが、老朽化率100%となっている。保育園は多くの子どもが通い、2つの施設では多くの方々が働いている。耐震工事は終わっているとのことであるが、我が会派みらいからは、早期建て替えの要望をしている。早期に建て替えに向け、計画を立てる必要があると思うが、見解を伺う。</p> <p>②靱山町長は、東大高保育園と給食センターを一体的に建て替えを進めて行くとのことだが、この二つの施設の東側を町道武富線が通り、この武富線から名鉄河和までの東大高土穴地区周辺は、故岸岡勝行元議員が幾度となく、この地区のまちづくりについて質問をされた。おそらくそれ以前からと推測するが、私が議員になった平成11年以降、今の状態は全く変わっておらず、もちろん地権者の意向も確認をしなければならないが、この地区をいつまでもこのままの状態、放置しておく訳にもいかない。保育園と給食センターの建て替えと、この土穴地区周辺も含め、検討して行くことはできないか。見解を伺う。</p> <p>③名鉄知多武豊駅西グランドデザイン化を図り、駅周辺を「都市拠点」中央公園周辺を「公共交流拠点」と位置付け、この2拠点を結び将来を見据えた駅西エリアのまちづくりビジョンを描く。と公約に掲げている。7月には、民間からの策定委員の公募も行われ、今定例会中の9月7日に、第1回名鉄知多武豊駅西グランドデザイン策定委員会が開催される予定になっている。我が会派みらいから「駅西土地利用計画の早期作成」と「旧野菜茶業研究所跡地の20年、30年後を見据えた利用」を要望している。靱山町長の任期は、令和7年4月までであるため、今の任期中に全ての工事完了は難しいが、事業着手できる状態にするべく、この任期中に計画を作成して頂きたく考えるが、見解を伺う。</p> <p>④駅西グランドデザインの中で、現在の本庁舎についても検討がなされると思う。本庁舎の敷地から名鉄武豊駅までの直線距離は約100mであり、公共交通機関から最も利便性の高い場所に公共施設が位置していることから、本庁舎移転後の利用方法として、例えば現在の本庁舎を図書館、レンタルスペース、貸し会議室、賃貸オフィス、子どもを預けることのできる施設等への改築や、移転が予定されている半田消防署武豊支署の跡地利用も含め、駅の近くにあつて、町民の皆様に喜んで頂ける、有って助かるような施設や利用方法も検討をして行くべきだと考えるがどうか。見解を伺う。</p>